

品質業務の流れ ~長年のキャリアとノウハウをもとに品質・製品サポートを行っています~

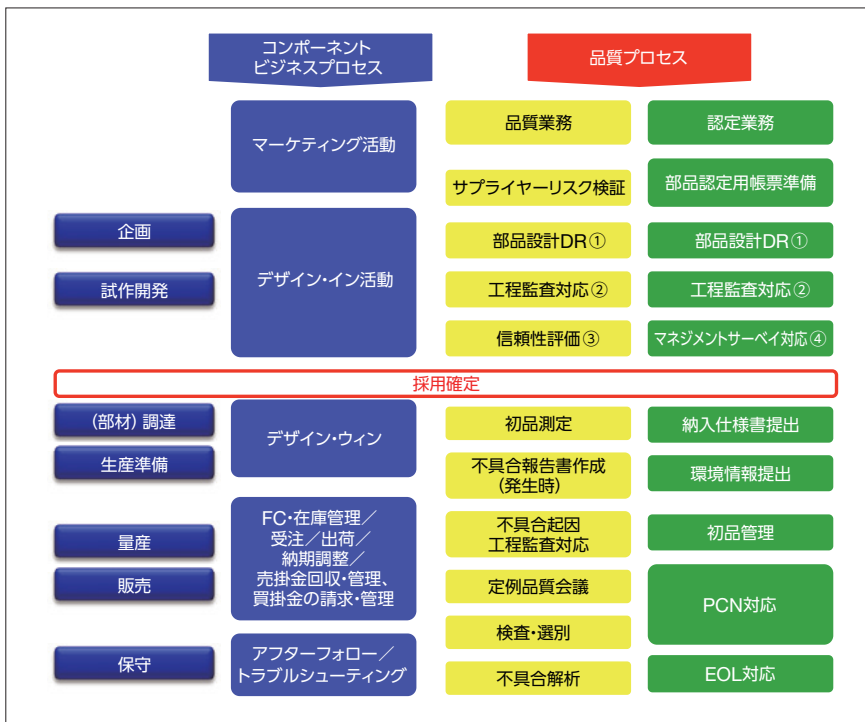
品質ユニットではネクスティのコンポーネントビジネスプロセスと並行して品質関連業務を部品採用が決まる以前から、マーケティング部門や営業部門と連携して行っています。お客様によって部品導入のプロセスはまちまちですが、それぞれのお客様が要望されるイベントに対応して打合せの実施、必要書類や工程監査の準備、終了後のフォローアップ、一部の部品では信頼性評価のサポートなど、お客様の量産開始以前から非常に広範囲な品質サービスの提供を行っています。下図にその業務の流れの一例を紹介します。

部品の量産供給前の代表的なものが右のフロー図にあります。

- ①**部品設計デザインレビュー (DR) :**
必要項目の整理・洗い出し支援、DRBFMを用いた新規・変化点の検証
- ②**工程監査対応 :**
実際に部品を製造する工場を監査シートに基づき監査
- ③**信頼性評価 :**
顧客重点確認項目のデータ取り支援
- ④**マネジメントサーベイ対応 :**
経営マネジメント力、設計マネジメント力、品質マネジメント力のヒアリング対応支援

上記に加え、認定帳票類の作成も不可欠な業務となっています。量産開始以降も初品管理納入時の層別管理・受入検査帳票の提出など社内各部門と連携しながら着実に対応しています。その中でも一番大変な作業が部品不具合発生時の対応となります。

注) お客様によりイベントの名称は異なります。

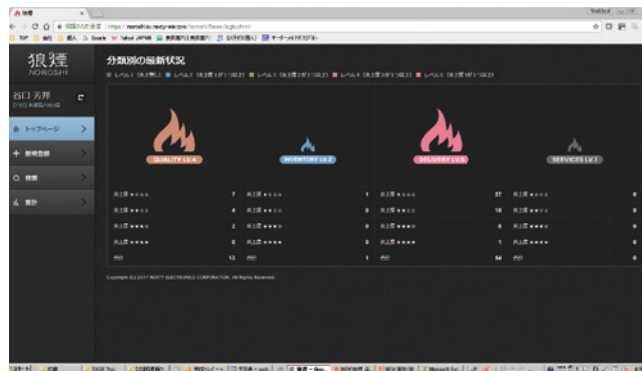
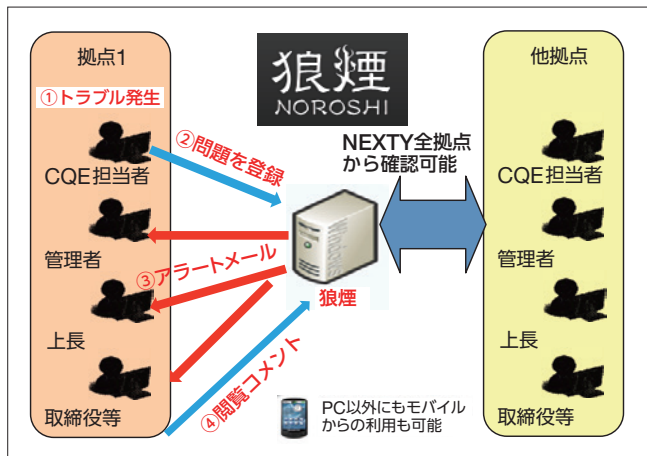


コンポーネントビジネスプロセスと品質プロセスの関係

不具合対応 (FAR) 業務

不具合発生時には不具合品の回収やサプライヤーへの伝達、解析依頼だけでなく不具合レポート作成や恒久対策立案も仕入先と連携して行います。重要なのは正確な情報伝達とスピードです。顧客に提出する8Dレポートとも呼ばれる「不具合報告書」を顧客の書式に従い、CQE (Customer Quality Engineer) が「なぜなぜ分析」、「4M分析」、「FTA」、「特性要因図などの分析」、「不具合発生メカニズム解明」といった専門知識を活用して、仕入先と連携して作成しています。

また不具合発生時の状況は「狼煙」という社内システムを用いて社内関係者と確実に共有出来る体制を構築しています。その内容の重要度に応じて、関係者に更新情報が即座にメール配信されます。このシステムは不具合だけでなく在庫、デリバリーについてもアラーム発信と情報共有に使われています。



③アラートメールについて
<炎上度3~4>メール通知先は、社長、取締役、営業部門長、品質部門。

お問い合わせ先/品質・SCM本部 メールアドレス info_web@taqs.net TEL.056-696-4433